

〈解答〉

①

- 1 (1) 環太平洋造山帯
- (2) カルデラ
- (3) 地形：扇状地 土地利用：果樹園
- (4) A：イ B：エ C：ア D：ウ (完答)
- (5) 冷害
- 2 (1) a：ア b：ウ
- (2) 〔例〕居住している近隣の県から、東京都内に通勤や通学をしている人が多いから。

配点 ①2(2)は2点, 他は各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1(1) 世界の中で地震や火山活動の活発なところは、山地や山脈が連なっている造山帯に集中している。世界の造山帯には、アルプス山脈、ヒマラヤ山脈、インドネシアへと続くアルプス・ヒマラヤ造山帯と、ロッキー山脈、アンデス山脈、ニュージーランド、日本列島など、太平洋を取り囲むように連なっている環太平洋造山帯の二つがある。
- (2) 火山の爆発や噴火による陥没などによってできた大きなくぼ地のことをカルデラという。
- (3) 扇状地は、川が山地から平地に出るところに、上流から運んできた土砂をたい積させてできる扇形の傾斜地である。地形図で見ると、等高線が谷口を中心に扇形に広がっている。扇状地の上部を扇頂、中央部を扇央、末端部を扇端という。扇央は粒の細かい土砂が多く水もちが悪いので、果樹園に利用されていることが多い。
- (4) Aは北海道の気候でイである。全般的に冷涼で、とくに冬の寒さが厳しい。北海道にははっきりした梅雨がなく、1年を通して降水量が少ない。Bは日本海側の気候でエである。大陸からふいてくる北西の季節風が、日本海をわたるときに水分を含んで雲をつくり、日本の山地にぶつかって雪を降らせるため、冬に雪が多い。Cは瀬戸内の気候でアである。冬の季節風が中国山地に、夏の季節風が四国山地にさえぎられるため、一年中温暖で降水量が少ない。Dは南西諸島の気候でウである。1年を通して雨が多く、台風の通り道にあるため秋の降水量も多い。沿岸に暖流の黒潮〔日本海流〕が流れているため、冬でも温暖である。
- (5) やませは東北地方の太平洋側で、初夏に見られる冷たく湿気を含んだ北東風で、太平洋を南下する寒流の親潮〔千島海流〕の上をこの風が通ると、多くの水蒸気を吸収する。そのため低温で日照も少なくなり、しばしば稲など農作物に被害を与える冷害をひきおこすことがある。
- 2(1) 4表のa, bは埼玉県、栃木県のどちらかである。埼玉県は東京都に隣接しており、東京都に通勤・通学している人が多く、昼の人口と夜の人口の差が大きいbで、栃木県はaである。ちなみに茨城県はキ、神奈川県はオ、群馬県はイ、千葉県はカ、

東京都はEである。

- (2) 都市の機能が一極集中する東京には、郊外からも多くの人々が鉄道などを利用して通勤・通学している。1960年代以降、都心部を結ぶ地下鉄と郊外にのびる電車とがたがいに乗り入れ、直通運転するようになった結果、通勤・通学圏はますます拡大していった。